

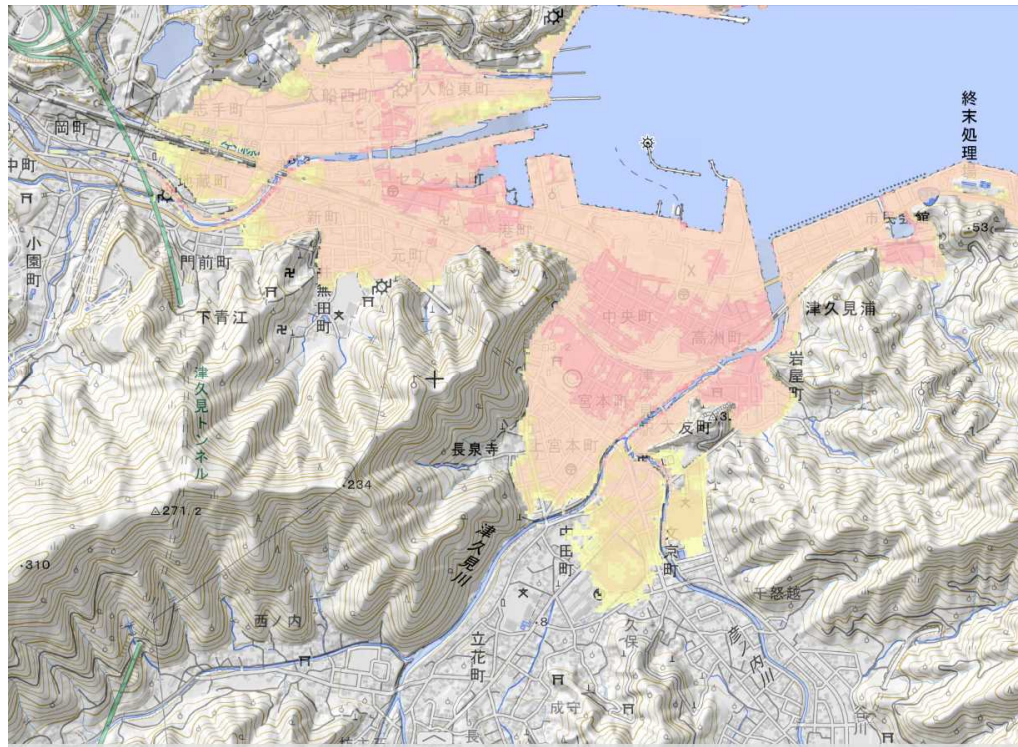
Aグループの作業マニュアル

各グループの共通作業

津波浸水範囲を青線で記入する

「重ねるハザードマップ(津波)」に記載されている津波浸水範囲の境界線を青線で「都市計画図」に書き込んでください

重ねるハザードマップ(津波)



都市計画図(津久見市 JG701)



津波浸水範囲を青線で記入する(記入例)

「重ねるハザードマップ(津波)」に記載されている津波浸水範囲の境界線を青線で「都市計画図」に書き込んでください

※この地図は大分市内です



Aグループ(避難場所の点検)の調査内容と作業

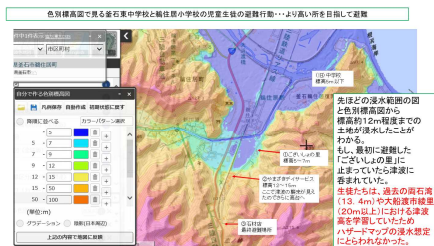
東日本大震災での課題

★避難場所が危険だったので被害に遭ったり
危険を予測して避難場所を変更(二次・三次避難)
して助かった事例があった

・高台に避難したが高さが足りず、地形的に二次避難で
きず孤立して被害を受けた「気仙沼市波路上地区」



・最初の避難場所で危険を予測して、より高い
場所を求めて二次避難、三次避難して助かった事例
「釜石市鶉住居地区(釜石東中・鶉住居小)」



津久見市中心部のリスクを調査

★津波からの避難場所を点検しよう

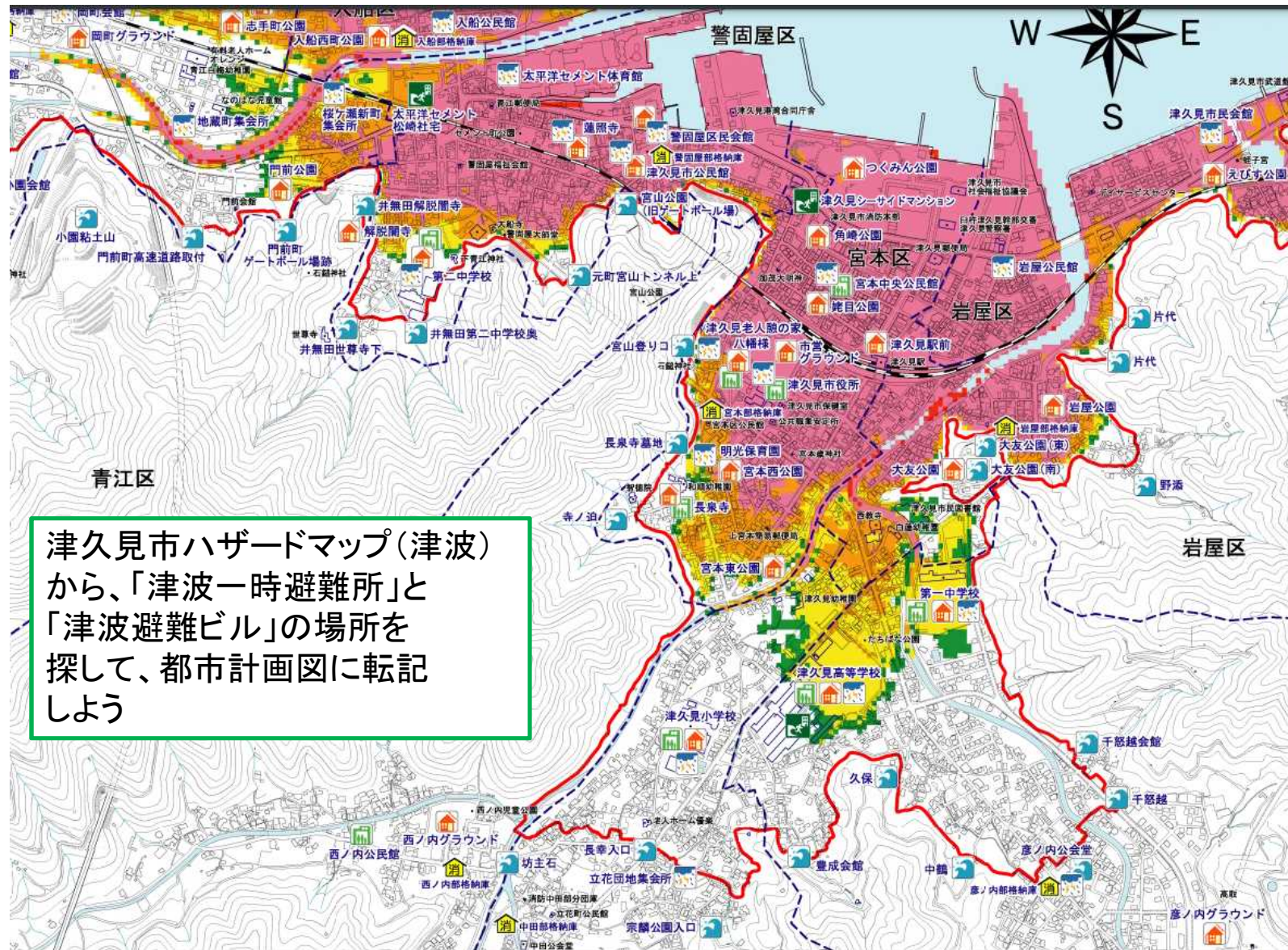
①津久見市が指定した津波一時避難場所と津波避難ビルの場所はどこにあるか

②上記①で見つけた場所の標高は何mなのか
※タブレット端末を使って「地理院地図」から標高を調べてみよう

③津波の被害想定(浸水深)をハザードマップの2倍に変えた場合、これらの避難場所は安全なのか
※色別標高図A・Bと重ねるハザードマップを使って検討してみよう

④これらの避難場所から、さらに二次避難、三次避難は可能なのか

地図の見方	
地形等	--- 行政界、地区界 海拔10m以上地域 公共施設・主要施設 消防格納庫
避難場所等	風水害一時避難所 地震一時避難所 津波一時避難所 津波避難ビル(施設) 市指定収容避難所
津波浸水深	10m以上 5m以上10m未満 2m以上5m未満 1m以上2m未満 0.3m以上1.0m未満 0.01m以上0.3m未満



津久見市ハザードマップ(津波)から、「津波一時避難所」と「津波避難ビル」の場所を探して、都市計画図に転記しよう

津久見市ハザードマップ
(津波)

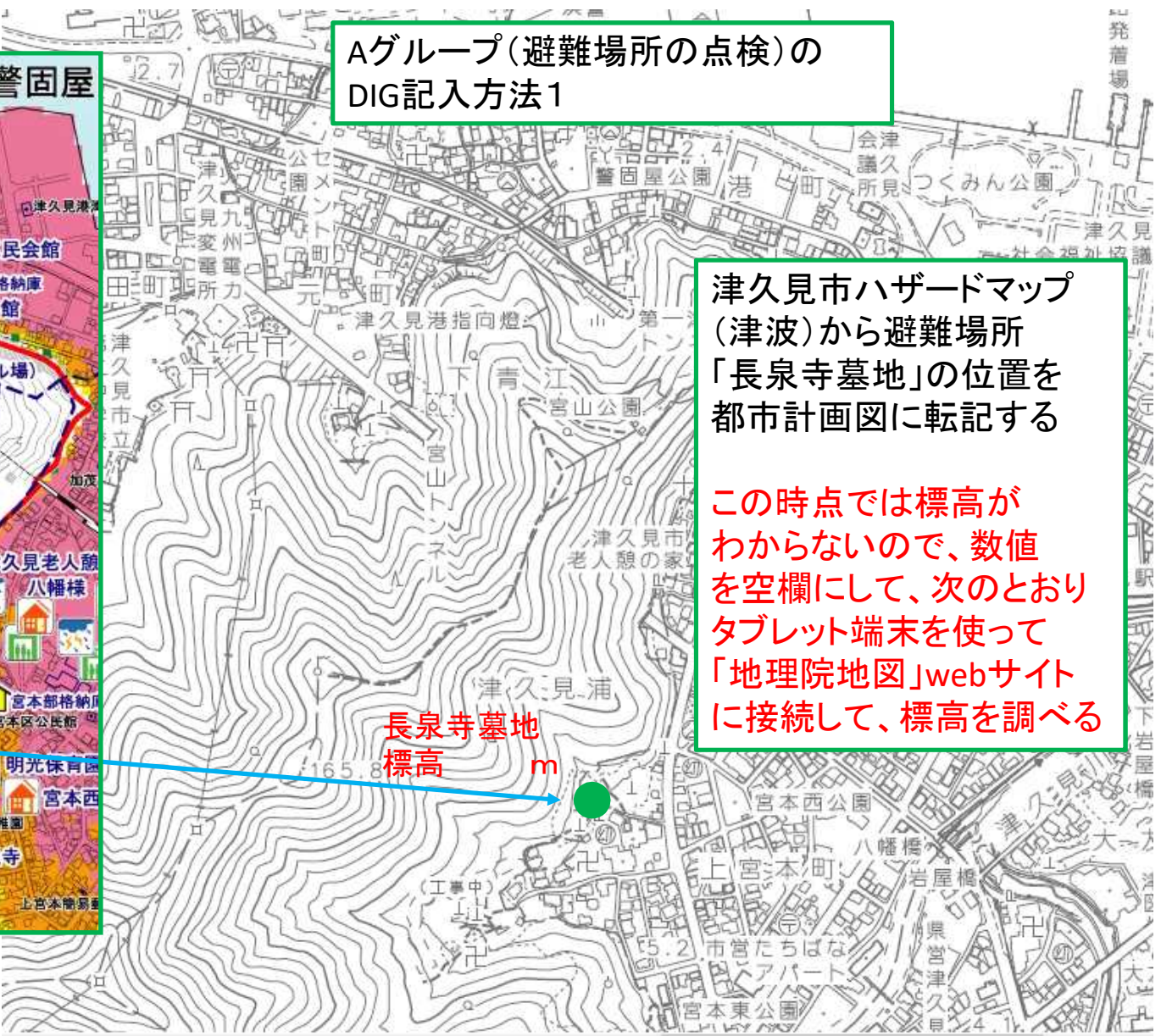
警固屋

Aグループ(避難場所の点検)の
DIG記入方法1

津久見市ハザードマップ
(津波)から避難場所
「長泉寺墓地」の位置を
都市計画図に転記する

この時点では標高が
わからないので、数値
を空欄にして、次のとおり
タブレット端末を使って
「地理院地図」webサイトに
接続して、標高を調べる

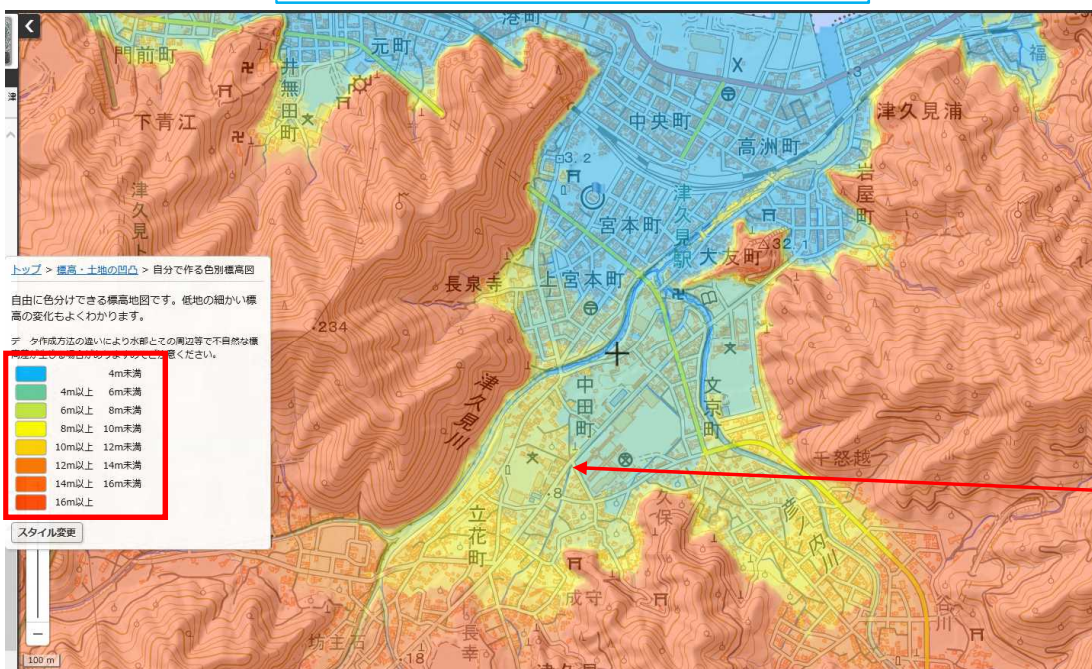
長泉寺墓地
標高 m



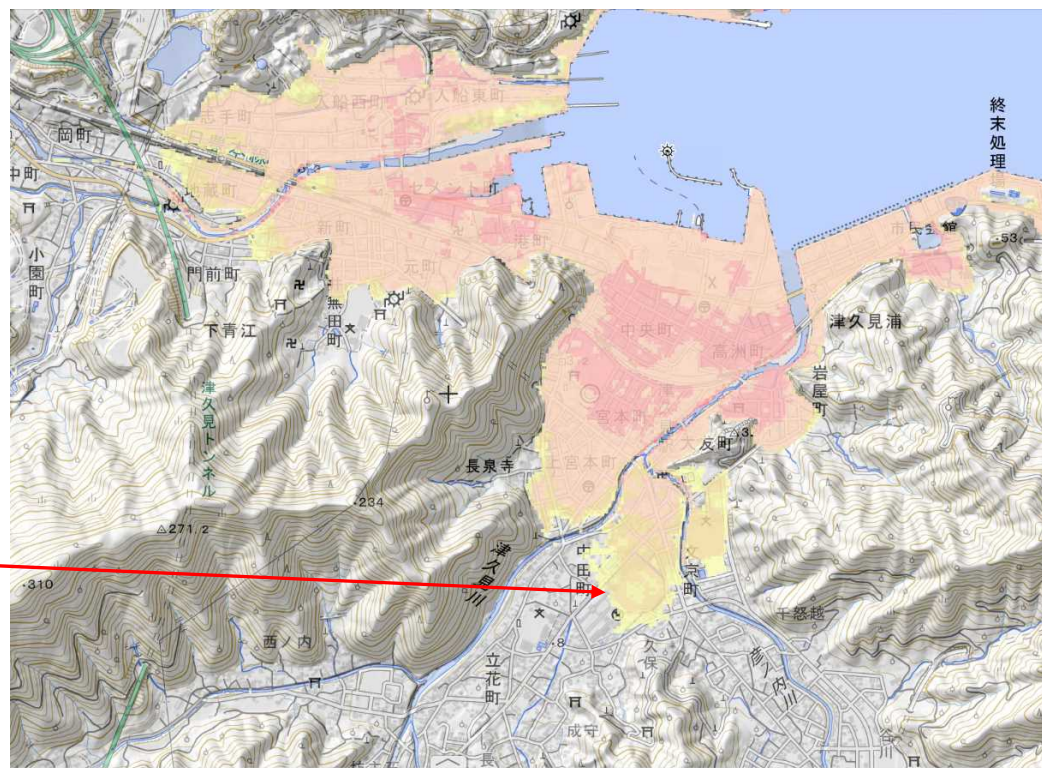
Aグループ(避難場所の点検) 津波浸水範囲を想定の2倍に変えた線を記入する方法

色別標高図(A)と重ねるハザードマップを見比べて、重ねるハザードマップでの浸水範囲のギリギリの場所の標高を読み取る

色別標高図(A)



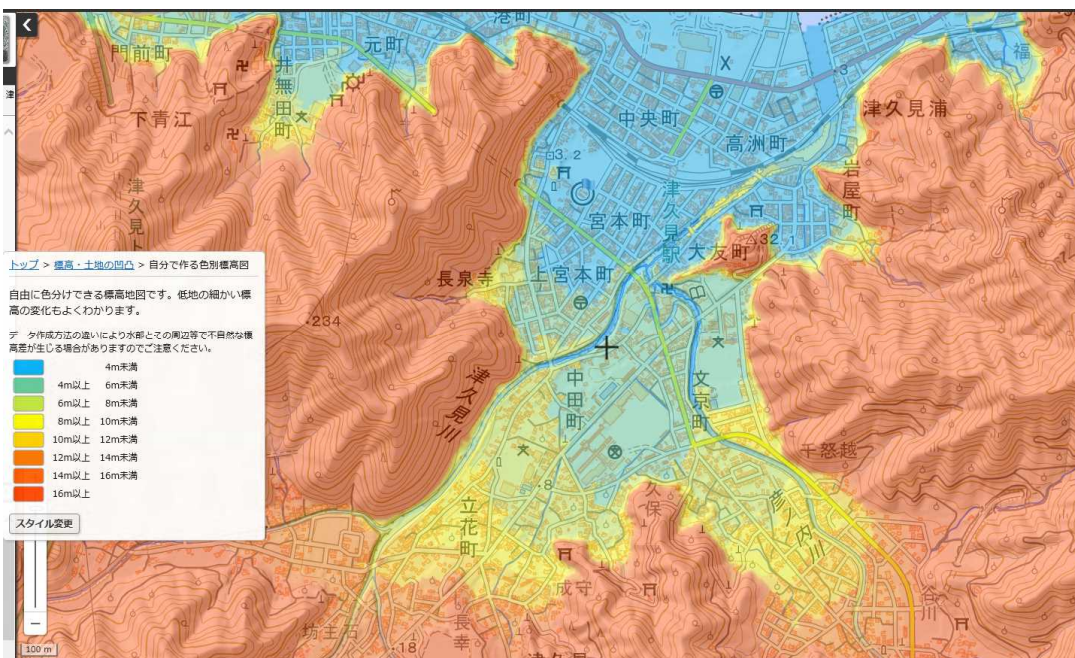
重ねるハザードマップ(津波)



Aグループ(避難場所の点検) 津波浸水範囲を想定の2倍に変えた線を記入する方法

色別標高図(A)と重ねるハザードマップを見比べて、重ねるハザードマップでの浸水範囲のギリギリの場所のおよその標高を読み取る

標高がわかったら(例:4m)次に色別標高図(B)から、その標高の2倍の標高(例:8m)の範囲を読み取り、**赤線**で都市計画図に記入する



点検シートにも記入しましょう

津波一時避難場所の点検シート

※記入例

一時避難場所名	標高 (m)	二次避難・三次避難 の可否(※)
○○公園	13.4	○
□□神社	12.4	×(裏山が崖で登れない)
△△トンネルの上	15.5	△
○□寺墓地	13.8	○

※可能○・不明△・不可×

津波避難ビルの点検シート

※記入例

津波避難ビル名	標高 (m)	ビルの階高 (階)
○○ビル	4	5
□△マンション	2	10

ビルの2階で地上高4m

マンションの2階で地上高3m